

領 収 証

フォーラム行楽会 小関 秀一様 No. 11

★ ￥ 155,870 -
但 特急券・乗車券代として

28年10月15日 上記正に領収いたしました



コクヨ ウケ-1097

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

長井市栄町1番10号
山形鉄道株式会社
電話 0238(88)2002

↙ うちキャンセル料 11,090円
キャンセル料を除く 144,780円 を参加者3名で支出
1名分 48,260円

ご利用明細

毎度ご利用いただき、ありがとうございます。
※ 以下のご利用明細は下記のとおりでございます。
どうぞお確めのうえお持ち帰りください。なお、裏面もあわせてご確認ください。

年月日	お取引時刻	取扱店番号	備付番号	取扱番号
281017	13:53	22820		0165
銀行番号	店番号	口座番号		
		現金扱い		
お取引内容	お取引金額	手数料		
お振込	¥99,960	¥648		
お取引 でない場合	お取引後の残高	うち振込手数料 ¥648		
おつり	¥392	印紙税納付		
三菱東京UFJ銀行 きよなみ支店 普通 1491229 お受取人 カクイ イイテイヒ-サホ -トチウフ様 ご依頼人 ナカ イツキ カイ コセキウ ウイ子様 電話番号 0238-84-6966 受付番号 1017071				

← うちキャンセル料 23,280円
キャンセル料を除く 76,680円 を参加者3名で支出
1名分 25,560円

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	0 0 1 4 0 8	通財払込 料加入 者負担
	8 8 0 0 0 1	
加入者名	一般社団法人 農山漁村文化協会	
金額	千 百 万 千 百 十 円 * 7 2 0 2 4 0 6 0 4 8 0	
ご依頼人	おなまえ * 【住所等非表示払込書】 小関 秀一 様	
料金	1101108413-000-01 印 28-07-19 長井桐町 郵便局	
備考	[REDACTED] (85277) N94150009	

新聞購読証明書

小関 秀一様

平成28年4月～平成29年3月分までの
新聞をご購読いただき、

合計 37,116 円の購読料をお支払いいただきました。

山形県長井市東町8-31

ASA長井・白鷹
宿澤新聞店

代表者 宿澤 勝敏

TEL 0238-88-2259

FAX 0238-88-5344

新聞購読証明書

小関 秀一様

平成28年4月～平成29年3月分までの
新聞をご購読いただき、

合計 40,728 円の購読料をお支払いいただきました。

有限会社 山形新聞長井南専売所

代表取締役 信太 武彦

山形県長井市四ッ谷一丁目1-35

TEL (0238) 84-8038

緑風会会派視察研修結果報告書（政務活動費）

	視察月日	平成28年10月18日（火）～10月20日（木）	
視察 項目	1	国会傍聴（衆議院TPP特別委員会）傍聴	衆議院第一委員会室
	2	国会衆議院本会議傍聴	衆議院本会議場
	3	TPPによる米政策への影響とSBS米偽装問題の勉強会（議員会）	衆議院議員会館
	4	全国市議会議長会研究フォーラム参加（10.19～20）（静岡市）	静岡市グランシップ大ホール
	5	全国市議会議長会研究フォーラム行政視察（10.20）	静岡市・島田市

参加者：緑風会会派研修（小関秀一・梅津善之・渡部秀樹）

1	<p>午前11:00から、TPP特別委員会の集中審議での、日本維新の会の松波健太氏による遺伝子組み換え食品の表示制度についての質疑を傍聴。</p>	<p>安部首相出席しての審議。食の安全に関する質疑は、大いに国民の興味ある分野であり大いに参考になる質疑であった。特に、肥育ホルモンを投与した牛肉は国内では肥育してはだめだが、輸入はしている。EUの場合は（投与していない）ホルモンフリーの牛肉は入れているという特別プログラムがあり、米国と契約を結んでいる。日本もこれを結ぶとしたら、TPPで投与した牛肉の輸入を排除できるのかとの問いに、石原TPP担当大臣は、科学的に実証されれば排除は可能との質疑が行われた。</p> <p>また、遺伝子組み換え作物について松浪議員は「輸入大豆の8割が遺伝子組み換えだが、遺伝子組み換えの表示がない」とし、松本純消費者相もこれを認め、店頭での「大豆（遺伝子組み換えでない）」という食品成分表示は見るが、遺伝子組み換えの表示は義務がないことが確認された。</p>	10月18日 衆議院第一委員会室（AM11:00～12:00）	衆議院
2	衆議院本会議傍聴（午後1時～）	<p>議事に先立ち、永年在職議員の加藤敏一氏への弔詞朗読。国幹審委員の人事案の承認あり。「平成24年社会保障と税の一体改革のための税制抜本改革の改正消費税法の一部を改正する法律案」（192閣法3号）が麻生財務大臣から趣旨説明され、審議入り。代表質問（自民党から）の途中で、次の日程の為退席。</p>	衆議院本会議場（PM13:00～13:30）	
3	農水省：TPPによる米政策への影響とSBS米偽装問題の勉強会（農水省平沢米調整調整官・山村貿易業務課課長補佐・酒井農産企画課企画官）	<p>①TPP協定発効後の、関税削減等に対する農業者の懸念と不安を払拭するため、経営安定を期し、生産コストの削減や収益性の向上への意欲を持続させることに配慮し協定発効後に合わせて経営安定対策の充実等の処置を講じるとの説明。特に米に関しては既存のWTO枠の77万トンに加え、除外税率を維持したうえで、米国・豪州にSBS方式の国別枠を設定して対応するもの。国別枠の輸入量の増加が国産の主食用米の需要及び価格に与える影響を遮断するとしている。あくまでも、枠の設定であり実需に影響はないとのマジック。生産現場では、生産調整以上の深掘対応で現在のコメ価格を維持している中に、ほんの僅かな量であれ輸入可能となれば劇的な価格の暴落が予想されることを主張してきた。</p> <p>②今般あかるみになったSBS米の売買同時入札（SBS）米で「調整金」と呼ばれるレポートを使った不透明な取引が行われていた問題で、農水省は10月7日、取引業者の4割超で金銭のやり取りがあったとの調査結果を発表した。SBS米が国産米より安く販売されていた可能性が出てきたが、農水省は国産米の需給や価格への影響はないとした。当日の説明では、買受業者113社のうち、「過去あった・現在もある」が42社。輸入業者26社のうち、「過去あった・現在もある」が19社にも及ぶ。流通形態の見直しを含め国民・農民の安心できる流通の監視、再発防止について要望を行った。</p>	衆議院議員会館・第5会議室（PM13:40～15:00）	
4	第11回全国市議会議長会研究フォーラムIN 静岡 参加		グランシップ大ホール（静岡県コンベンションアーツセンター）	
	<p>①基調講演「二元代表制と議会の監視機能」 大森彌 東京大学名誉教授</p>	<p>①憲法93条において、地方自治体の議会の設置と住民による直接選挙によることが定められている。これは首長も同じであり、二元的代表制と呼ばれる。直接選挙で選ばれる理由には、1) 首長と議員は自治体全体の意志を決定する権力の座にあり、選挙による民意の指示の下、自治体の意思を公式に確定する権限を持つ為、住民に対して責任も負う。2) 選挙により住民によるリスク管理が必要であり、権力の濫用等に対する4年毎の選挙による住民の信託を受ける制度が講じられる。3) 選挙により不可視な民意を可視化できる。代表という形で、民意を生身の人ない数で表す「擬制」を前提として成り立つ。4) 選挙で選ばれた公選職は、決定権に白紙委任されたことではない。だから多様な有権者の批判や提案に耳を傾け、意見を伺いそうした有権者の参加活動の中で責任ある決定を下し、住民は常に監視する必要がある。議員は、有権者の監視・批判・注文・提案を前提にした「民主条件付き」代表である。②首長が民意に問い、民意に応えようとする施策に対し、議会がはっきりと存在理由を示すのは、「チーム議会」の実現が必要。だから合議体としての体をなすには、様々な意見や議論を集約するための議員間討議を重ねることが不可避である。議員が会派の創意を超えて、あたかも一人の議金人のように意思決定できる主体になることである。議員間の討論とその集約こそが議会たる本質である。</p>	10月19日 13:20～14:20	PM

②パネルディスカッション「監視権の活用と議会改革」	<p>*コーディネーター (山梨学院大学教授) *パネリスト (東京大学大学院教授) (龍谷大学教授) (日本経済新聞編集委員) (静岡市議会議長)</p>	10月19日 14:40~16:40 PM
③課題討論「監視権を如何に行使すべきか」	<p>コーディネーター (中央大学教授) *事例報告者 (藤沢市議会前副議長) (和歌山市議会議会運営委員会委員長) (日田市議会議長)</p>	10月20日 9:00~11:00 AM
5 ④行政視察【地場産業活用と地域子育て支援活用事例視察】	<p>徳川家康公による駿府城築城に際し、秀でた名工たちを集めたことに始まる静岡市の伝統工芸品の技術や歴史を活用した地域活性化策の視察。また、地域における次世代を担う児童の育成と子育て支援の取り組みを視察。</p> <p>①【静岡ホビースクエア】模型の世界首都として、世界中の模型ファンが集まる街へと成長を続ける静岡市を代表する模型メーカーの製品や静岡の歴史が詰まった伝統工芸品を展示する施設。ミニ四駆の大会のできるコースも完備、公認競技会場として子供も大人も多くの参加者が集う会場ともなっていました。</p> <p>②【駿府匠宿】静岡の伝統工芸産業は、時代の変化に伴い様々な産業を生み出し、現在では他に例をみないほど集積してきた。その伝統工芸産業の発信と発展を目指した工芸と歴史の体験型施設。体験工房では削る・触れる。ギャラリースペースでは観る・遊ぶ・学ぶ。別館・おもしろ体験館では体験を通して楽しむスペースとおみやげ処・お食事処・喫茶処を配した施設となっております。多くの観光客で賑わっていました。</p> <p>③【島田市こども館】人口10万人の静岡市近郊の都市の、乳児期から小学生まで体を動かせる全天候型遊技場「プレイルームぼねる」を含む、家族で楽しみながら交流できる市営の子育て支援施設でした。築30年を経過した大型商業施設の老朽化による建て替え計画により、従来の商業施設を始め、まちの交流拠点としての公共施設、共同住宅、駐車場を含めた複合施設として、H24年6月、鉄骨造10階建て・社会資本整備総合交付金『優良建築物等整備事業』を活用して完成。更に、このビルの1階から4階までの保留床を取得して街の魅力を伝える情報発信拠点として、また中心市街地の交流人口の増加を目的に「こども館」「図書館」を社会整備総合交付金『都市再生整備計画』の活用で、17.6億円で開催したもの。</p> <p>1階 FMIまだサテライトスタジオ(101.472㎡) 2階 一般書フロア島田図書館(2619.97㎡) 3階 児童書フロア 4階 こども館 (1355.94㎡)</p> <p>①図書館の特質すべき点として、平日は午後8:00まで閉館。また主に子供の読書推進を目的にH24から読書通報を開始。銀行の預金通報に似た、読書通報木から印字して読書記録を残し、自分の読んだ本を記録して貯めることを楽しみながら読書の推進を図るもの。また、雑誌スポンサー制度をH23年から導入。新刊雑誌を企業・団体から提供してもらい、閲覧用カバーにスポンサーの名称と広告を掲示する。現在はスポンサー数36事業所、雑誌数62誌となっている。また、市外からも含めH27年の利用者数134,461人に及ぶ。</p> <p>②S53年造の児童センターの老朽化に伴い、同施設内の4階に子供が遊びを通じて運動することを目的に、デンマークの最新体育理論に基づいた大型運動遊具(ポーネルド社)を選定し屋内施設を整備した。運営は3500万円指定管理。</p> <p>「プレイルームぼねる」有料の遊具エリア2時間ごと、一日4回の入れ替え制。未就学児無料。小学生100円。市内大人100円。市外大人200円。静と動に分かれたエリアで乳幼児親子から小学校まで様々な遊びを提供している。H27年は、13万人、一日404人を利用している。</p> <p>「活動室」「一時託児室」「ファミリー・サポート・センター」の機能も兼ね備えている。ワンフロアでの子育て支援の総合的な複合施設は、今後の長井市の公共施設整備に大いに参考となった視察であった。</p>	10月20日 11:30~PM17:15 AM
【別添、資料添付】		

以上のとおり報告します。

平成28年11月9日

長井市議会議員 縁風会 小関秀一



長井市議会議長 渋谷佐輔 様

農文協 読者のつどい 2016 内山節『哲学講座』参加報告書

講座年月日	2016年7月30日(土)～31日(日)	
会場	群馬県上野村『やまびこ荘』	
講師	(哲学者)	
	<p>1950年、東京生まれ。『労働過程論ノート』(1976年)で哲学・評論界に登場。1970年代から東京と群馬県上野村を往復して暮らす。趣味の釣りを通して、川・山と村・そこでの労働の在り方について論考を展開、『山里の釣りから』(1980年)に平明な文体で結実する。そこでの自然哲学や時間論、森と人間の営みの考察が『自然と人間の哲学』(1988年)、『時間についての十二章』(1993年)、『森にかよう道』(1994年)などで展開された。</p> <p>NPO法人・森づくりフォーラム代表理事、『かがり火』編集長。</p> <p>『東北農家の2月セミナー』『九州農家の会』などで講師をつとめる。</p> <p>立教大学大学院教授、東京大学講師などを歴任。</p>	
研修日程	7月30日	<p>① 13:00 開校式 上野村 村長 歓迎の挨拶</p> <p>② 13:15 第一講 『いま世界で何が起きているのか』</p> <p>③ 15:50 第二講 『生きる世界の再創造』</p> <p>④ 19:30 上野村学習 (一社)上野村産業情報センター 氏</p>
	7月31日	<p>⑤ 9:00 第三講 『上野村の伝統回帰と地域の労働体系』</p> <p>⑥ 11:00 上野村見学 (ペレット工場・バイオマス発電所等)</p> <p>15:00 解散</p>
研修内容	①	<p>13:00 開校式 上野村 村長 歓迎の挨拶</p> <p>上野村は群馬県の最西南端に位置し、標高450m以上の高所で急峻な地形です。四季の移ろいが爽やかな山々の豊かな自然と共に、平成の名水百選に選ばれた神流川源流が村の中心を流れ、貴重な動植物を育む環境を残した素晴らしい山村です。人口わずか2000の村が、多くのターナー者が定住しており「子供たちが住んで良かったと思える村づくりと、高齢者が安心して住める村づくり」を目指しています。村政は村民の為にあり、村民の村民による村民の為に村政を一致団結して運営しています。特に、山村の生きる道を、地域循環の資</p>
	②	<p>13:15 第一講 『いま世界で何が起きているのか』</p> <p>英国のEU離脱や、米国の政権交代に代表される世界の動きは、民主主義は成立しうるのかとの問いかけにまで至っている。それはいつか実現するという立場に立つのか、実現不可能だがその旗を降ろさず、一歩でも前に行くという立場に立つのか問われる。リベラリストは掲げた旗を降ろさず黄昏た国家をきっちりと見据える『力』の継続が必要。近代世界の生きる世界が『経済・社会・生活・文化・信仰などがバラバラな要素になった時代であり、特に現代は経済だけが暴走し、他の要素を破壊している。これを乗り越えるためには、風土を大事にした地域づくりを探る必要がある。</p>
	③	<p>15:50 第二講 『生きる世界の再創造』</p> <p>コミュニティとは、共同体、経済、文化などを一体的に創造しようとする動きである。更には、風土と結ばれた暮らしのありよう『労働・ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス・スローライフ・スローフード等』の関係性が共同体を形成する。農村ではかつてコミュニティ=共同体はほとんどが地域の中に納まっていた。でも現代では、地域を超えて「生きる世界」を形成する。例えとして、NPOや一般社団、株式会社等のかたちの中で、若者が変化を始め、その創業を支援する新しい関係性を地域に持ち込む人々を歓迎する。上野村の人口の20%は1ターナーで占めているのもその表れかもしれない。</p>
	④	<p>9:00 第三講 『上野村の伝統回帰と地域の労働体系』</p> <p>こうした現代社会の新たな歩みは、長井市で20年来取り組んできた【循環型の地域づくり】レインパワープランや、置賜自給圏構想と相応し、その理想郷が群馬県上野村に見て取れる。</p> <p>・上野村が目指してきたもの</p> <p>上野村は人口が1300人(H28/4/1現在)であり、群馬県でも最も小さい自治体です。明治22年の町村制施行により誕生以来、耕作地の少ない農山村という厳しい条件の中、先人の知恵と努力によって自然豊かなふるさとの姿を守ってきました。当村は森林面積が村の総面積の95%を占めています。木材市場の活力低下など林業を取り巻く環境は非常に厳しいが、豊かな森林を誇る上野村は、林業振興を村経済の活性化に結び付けていくことが重要と考えた。森林整備では、以前切捨て間伐が中心でした。丸太材がそのまま放置され「林地残材」となり、豪雨などによる土砂災害が発生した場合、被害拡大の原因となる可能性があり、村では、平成22年度から撤出間伐に対して補助金のかさ上げ等の支援を実施し、搬出された間伐材(不良材)を有効活用するために、木質ペレット工場を建設。そこで製造された木質ペレットを、村内温浴施設に導入したペレットボイラーで使用するほか、バイオマスエネルギーの公共施設などにペレットストーブを設置し、利用を促進している。</p> <p>また、H27からは木質ペレットをガス化して行う木質バイオマス発電事業を開始。このバイオマス発電は180Kwhと小規模ですが、上野村にとっては木材活用の出口が確保されることになり、森林整備の促進や雇用の安定確保において、大きな効果が生まれている。</p> <p>そうして、森林資源の活用とエネルギーの地産地消を核として「循環する村内経済の仕組み」の確立を目指している。</p> <p>年次計画で、伐採面積と雇用を確保、売電やペレット販売によることを目標とせず、25年サイクルでの森林の再利用を目指す。無理をしない計画が村の魅力や、地域資源、人口流入に効果を生んでいることに学ぶべき地域づくりの指針になる。</p>